

ムミアに適切な医療を！ 死刑判決の復活を許すな！

ペンシルベニア州の死刑囚監房で23年目を迎えた黒人ジャーナリスト、無実の死刑囚ムミア・アブ=ジャマールに健康上の危機と死刑判決復活の危機が迫っています。適正な医療を拒否され、脚部の痛みを耐えている彼に、刑務所外の医師による診断と治療を要求し、公正な再審を実現させるために、世界中から正義を求める声を、州知事と刑務所長に届けましょう！

無罪証拠の採用を拒否

2003年10月8日、ペンシルベニア州最高裁は、ムミアの弁護人から提出されていた証拠の採用を拒否する決定を下しました。それは、自分が真犯人であると名乗り出た黒人男性、アーノルド・ビバリーによる詳細な宣誓供述を含む、重要な複数の無罪証拠です。

州最高裁は、証拠の評価には言及せず、たんに州法の定める証拠提出期限に遅れているというのです。死刑囚の無実を証明するかも知れない証拠を、中味さえ吟味せずに、期限切れで門前払いするというのです。

死刑判決を復活させる動き

ムミアは1981年12月にフィラデルフィアでおきた白人警官殺害事件で犯人とされ、死刑を宣告されました。彼は最初から一貫して無実を主張し、死刑確定後も再審を求めてきました。その過程で、2001年12月、連邦地裁のウィリアム・ヤーン判事が一審の死刑判決を無効とする決定を下し、量刑判断のやり直しを州裁判所に求めて差し戻しました。

あくまで無罪を主張する弁護側と死刑を主張する検察の双方が上訴しました。弁護側は、口頭弁論を開き、ビバリーの自白調書などの新しい証拠を調べるように要求していました。それへの回答が、10月8日のこの州最高裁決定です。

その上、連邦最高裁はヤーン判決をくつがえし、死刑を復活させる方向で動き始めています。ヤーン判決は、1988年のミルズ対メリーランド州裁判の判例を引用して、第一審死刑判決を無効としました。ヤーン判決は同

時に、88年のミルズ判決の効力は、過去にさかのぼって適用できるというバンクスの判例も根拠としています。それに対し、連邦最高裁はバンクスの判例の見直しを決定したのです。バンクスの



判決がくつがえされると、ミルズ判決は82年のムミア裁判には適用されず、死刑判決を無効としたヤーン判決は判例の根拠を失うことになるのです。

適正な医療を拒否する刑務所

さらに、ムミアは1年以上前から脚部に激しい痛みを感じ、歩行が困難な状態であると伝えられています。彼自身は血栓ではないかと考えていますが、原因がはっきりしないことが最も気がかりなことです。弁護団や支援者は、刑務所外の専門医による診察を要求していますが、刑務所当局はこれを拒否し、適正な医療を受ける権利が侵害されています。

外部の医師による的確な診断と治療を要求することは、公正な裁判を実現するためにも緊急の課題となっています。

ペンシルベニア州知事と刑務所長に対し、適正な医療を実現するように要求する緊急署名に、ぜひご協力ください。

ムミアの死刑執行停止を求める市民の会

ムミア事件についてのより詳しい情報は、下記のウェブ・サイトをご覧ください。

<http://www.jca.apc.org/mumia/>

ムミア・アブ＝ジャマールとは

1954年、フィラデルフィアに生まれる。15歳のとき、人種差別撤廃運動に参加。その後、ブラックパンサー党と出会い、党の全国新聞で記者、編集者として働く。

1970年代からラジオ・ジャーナリストとして活躍。警察の腐敗や暴力を告発し、貧困層や人種的マイノリティの立場に立った報道を続け、ボイス・オブ・ザ・ボイスレス（声なき者の声）と呼ばれる。

1981年12月9日早朝、フィラデルフィア市中心部で起きた白人警官射殺事件の現場に居合わせ、逮捕される。彼自身も銃で撃たれ重傷を負っていたが、駆けつけた警官隊は、彼に激しい暴行を加えて逮捕した。

1982年7月、死刑判決を受ける。裁判は不十分な弁護と差別的訴訟指揮によって極度に不公正なものであった。1995年6月から再審請求を続けている。

また一方、獄中から文筆活動を続け、アメリカ社会の差別、貧困、腐敗を鋭くえぐる論評を発表している。そのうちの一冊は『死の影の谷間から』というタイトルで日本語訳が出版されている（2001年4月現代人文社刊／今井恭平・訳）

9-11以降は、ブッシュ政権のアフガニスタン、イラクへの軍事侵攻に対し、厳しい批判を行い、米国内の反戦平和運動に大きな貢献をしている。

ビバリーの自白調書

事件当夜、自分は殺害現場にいた。もう一人の男とともに、金で雇われてフォークナー巡査を殺すためだ。当時、フィラデルフィア中心部では、犯罪組織と腐敗警官が結託し、売春、麻薬取引、違法賭博などが半ば公然と行われ、FBIが内定捜査に入っていた。フォークナー巡査はFBIの協力者として内定捜査に加わっていたため、犯罪組織と汚職警官によって消された。

現場の状況についてのビバリー供述は他の目撃証言や現場の鑑定報告と一致している。また、この事件の直後にフィラデルフィア警察の大がかりな腐敗が摘発され、ムミア逮捕に直接かかわった警官を含め、多くの警官が逮捕されたり解雇された。またこれに絡んでFBI協力者の数名が暗殺されている。

こんなおかしい裁判で死刑に

ムミアは事件直後に現場で逮捕されたのに、銃を撃ったかどうか確認するための硝煙反応テストが行われていない・・・とされている（おそらくは、テストはされていたのに反応が出なかったために警察が隠していると考えるのが自然）銃を使用した犯罪の捜査で、このテストをしないことはおよそ考えられない、と専門家は指摘している。

凶器とされた銃は38口径。一方、射殺された警官から摘出された弾丸は44口径である、という警察鑑識課の報告書が一審裁判で隠されていた。再審になって出てきたこの証拠に対して、警察側は「暫定的な報告書にすぎず、その後の検査で38口径である可能性もある」と述べている。

検察側証人たちは多かれ少なかれ警察に弱みを握られていた犯罪歴のある人物で、ムミアに不利な証言をした後、自分の容疑で訴追を免れたり、違法行為を見逃してもらっている。また、決定的な証人となったホワイトという女性は、現場にいなかったという他の証言もある。

ホワイトと同様にムミアに不利益な証言をすれば、自分の容疑を見逃す、ともちかけられた、と証言している人物が複数いる。

ムミアが、重傷で運び込まれた病院で「あの警官は俺がやった」と叫んだ、という証人が3名いる。彼等はいずれもなぜか事件から2カ月以上もたってからそのことを「思い出して」いる。だが、その夜ムミアのそばにつきっきりでいた警官の正式な報告書には「黒人の容疑者は一言もしゃべらなかった」と書かれており、また当直医は「ムミアは重傷で、ものが言える状態ではなかった」と証言している。



Mumia Abu-Jamal, The Voice of the Voiceless

以下の署名用紙に署名し、末尾の取扱い者までご郵送ください。集約し、ペンシルベニア州知事とムミアが収容されている州立グリーン刑務所長あてに責任をもって送ります。

ペンシルベニア州知事 エドワード・レンデル殿
州立グリーン刑務所長 ルイス・フォリーノ殿

私たちは、ペンシルベニア州グリーン刑務所在監のムミア・アブ=ジャマール氏の健康状態が悪化していると聞き、たいへん心配している日本市民あるいは、日本在住の外国市民です。

アブ=ジャマール氏は、脚部に異常な痛みを覚え、適切な診断と医療が緊急に必要です。しかし、聞くところでは氏が現在、適切な医療をうけていないと懸念せざるをえません。適切な医療には、外部のしかるべき専門医による診断と治療が必要です。アブ=ジャマール氏が、ただちに自ら選択する外部の医師の診療を受けられるよう手配して頂くことを心からお願いします。

アブ=ジャマール氏に対する取扱いは、ペンシルベニア州および州の矯正当局が人道と人権に深い配慮を払っていることを世界中に示すことになると期待しております。

要望を聞いて頂き、感謝いたします。

Governor of Pennsylvania, Edward G. Rendell
Superintendent of SCI Greene, Louis S. Folino

Dear Mr. Rendell and Mr. Folino:

We, the undersigned are Japanese citizens, or foreign citizens living in Japan, who are concerned about Mr. Mumia Abu-Jamal, an inmate of the State Correctional Institute Greene. We have learned that Mr. Jamal is suffering from intolerable pain in his leg and needs to be examined by a competent medical expert urgently. We are seriously concerned that he will not be allowed to do so despite the fact that he needs to see an independent medical doctor from outside the prison.

We urge you to do everything you can, as the governor of Pennsylvania and as the superintendent of the penitentiary, to allow him see a doctor of his own choice without delay. We expect that your prompt and proper action will show the world that the state of Pennsylvania and its correctional department take issues of humanity and human rights seriously.

Thank you very much in advance for your cooperation.

署名は、日本語でもローマ字でも結構ですが、できればローマ字でお書きください。

| お名前 Name | ご住所 Addressee | ご署名 Signature |
|----------|---------------|---------------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

署名返送先：〒 270-0101 千葉県流山市東深井 88-18 今井恭平 気付
ムミアの死刑執行停止を求める市民の会